

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		放課後等デイサービス えーるくらぶ	公表日 令和8年2月1日			
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	50%	50%	・大きい子どものオムツを交換するスペースがない。 ・建物の構造上難しい。 ・利用者の障害の程度において部屋は足りていないと思う時があるが、状況により部屋をカーテン等で仕切り確保している。	・更衣、オムツ交換等年齢に応じた対応を行うための環境設定の工夫が必要
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	50%	50%	・利用者の状況によっては配置基準以上の人員が必要な時もある。	・配置基準は満たしているが、送迎が必要な学校数の増加や学年の幅が広がり様々な下校時間への対応が必要となり基準以上の配置が必要と感じる
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	83%	17%	・構造上難しい場合もある。 ・各部屋に絵カード、文字等の工夫をしている。	・絵カード等を部屋に貼ってあるが利用者によってはカードに興味があり外してしまいますことがあるので外れないような対策が必要だが、カードや絵を見せて誘導を行うこともあり、難しいと感じる
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%	0%	・毎日の清掃で出来る限り綺麗な環境を保っている	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	83%	17%	・個別対応ができるようその日の利用人数やメンバーを考慮した環境設定をしている。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	83%	17%		・目標が同じような内容になってしまうこともある為、活動への新しいルール導入や個々に応じた細かな目標設定を考えること必要
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	・ご意見等をスタッフ全員で共有する時間を設け都度改善を話し合っている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	・業務改善委員会にて意見内容を共有し委員会で改善案が出ない場合は部署長、施設長を交えた委員会での共有を行っている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	67%	33%		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%	0%	・研修委員会の主催の研修だけではなく県、市からの研修にも定期的に参加している。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%	0%	・全体的な活動については毎月予定表を配布している。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	100%	0%	・毎年年度末にご家族にモニタリングを実施している。それを踏まえて職員間で会議を行い計画書の作成を実施している。	・利用者や保護者の方で面談希望の方が居ない。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%	0%	・上記内容と同じ	・利用時間など総合的に鑑み、計画の作成を行っている。高学年(特に、いしかわ特別支援学校大場校の高校生)の下校時間が遅いため、過ごし方に工夫が必要。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	・立案時に会議を行い情報共有を行っている	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	67%	33%		・アセスメントツールの使用方法や活用方法をさらに周知していくことが必要
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%	0%	・5領域に基づいた内容を組み込んで作成している。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%	0%		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	・定期的に新しい活動や従来ある活動内容にルール変更やパターンを変える等の工夫を行っている。	

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%	0%		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	83%	17%		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせる支援を行っているか。	100%	0%		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	100%	0%		
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	67%	33%		・地域の学校(特別支援学校以外)との連携や協力体制を整えることが困難なケースが多い
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	83%	17%	・学校からの連絡事項ツールの使用をしているが、メインはHPまたは保護者からの連絡となっている。連絡調整は適宜実施している。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	100%	0%		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	83%	17%		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	83%	17%	・定期的に児童発達センター主催の研修等に参加している。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	17%	83%	・放課後デイサービスの利用については、同じ法人の施設と活動することを計画しているが、一般の子どもとの活動は企画できていない。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	33%	67%		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%		
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	33%	67%	・家庭に倒る協力体制は出来ているが、こちらが積極的なプログラムのトレーニングができていない。 ・家族との情報提供はできているが、家族等の参加できる研修は行われていない。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%		・契約時に説明を行っているが、定期的な口頭説明を求められる意見が聞かれた為、必要に応じて実施していく
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%	0%		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	100%	0%		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%		

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	83%	17%	・参観等の行事で交流する機会を作っています。 ・父母会はない。 ・保護者参観週間や親子行事を年2～3回実施している。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	67%	33%		
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%	・利用者の個人情報に当たる書類は鍵付きロッカーで管理を行っている。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	83%	17%	・地域住民を招待する行事は行われていない。 ・当部署単体では行っていないが、施設全体の行事で行っている。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%	0%		・施設全体で策定しており、定期的に内容変更があり周知が行き届いてない場合もある為、改善が必要
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%	・診療情報提供等、常時最新のものを提供して頂いてる。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	83%	17%		
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%		
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	66%	16%	※未回答 1	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%	0%		
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%		
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	100%	0%		